

除雪機
による

事故を防ごう！

人がいる時は 使わない！

作業中は、絶対にまわりに
人を近づけない。



エンジンを掛けた まま離れない！

作業の時以外は、
必ずエンジンを止める。



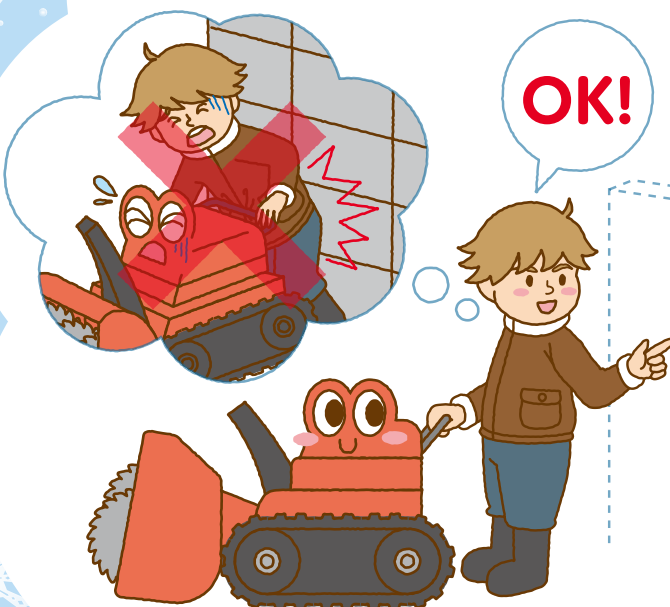
雪かき棒を 使って！

雪詰まりを取り除く時は、エンジンを
止めて必ず雪かき棒を使う。



後方注意！

後進する時は、足もとや
後方の障害物に気をつける。



使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。

必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく使用してください。

除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、
普及に努めています。

除雪機安全協議会

(事務局：(一社)日本農業機械工業会)

<http://www.jfmma.or.jp/jyoankyoo.html>

除雪機安全協議会

検索

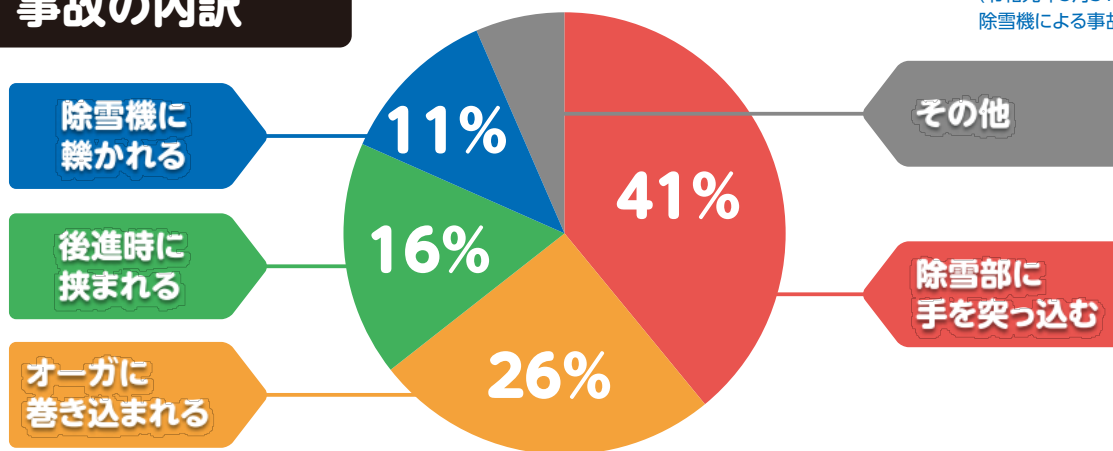


除雪機を安全にお使い頂くために

歩行型ロータリ除雪機使用中の4大事故要因

出典：消費者安全調査委員会 報告書
(令和元年5月31日公表)
除雪機による事故の件数より

事故の内訳

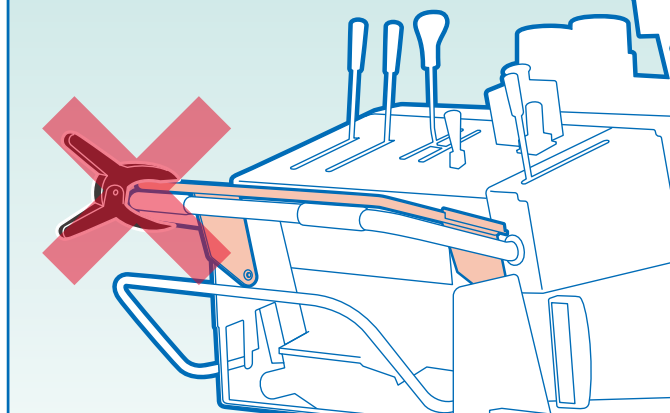


除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

除雪機を安全にお使い頂くために

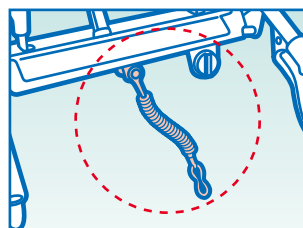
※詳しくは、お使いの除雪機の取扱説明書をご確認ください。

デッドマンクラッチ機構を固定して無効化すると、除雪機が止まらず、思わぬ重大な事故になります。



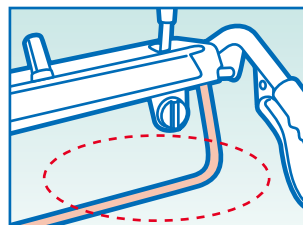
デッドマンクラッチ機構

手を離すと自動的に除雪機が止まる、大切な安全機構です。器具で固定したり、ひもで縛ったりして無効化するのはやめましょう。



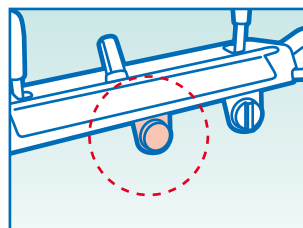
緊急停止クリップ

作業時には必ずクリップを体につけてください。クリップを体につけておけば、機械から離れた時に停止させることができます。



緊急停止バー

バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



緊急停止ボタン

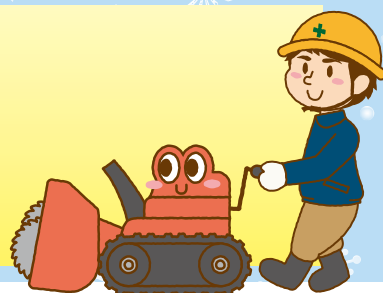
ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構の無効化は非常に危険です。絶対に改造しないでください。



注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。●雪詰まりを取り除く時は、エンジンを止めて、必ず雪かき棒を使う。●回転部に近づく時は、必ずエンジンを止める。●後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。●雪を飛ばす方向に注意する。作業中は、絶対にまわりに人を近づけない。●安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。●定期点検を行う。特に安全機構が正常に動作するかを確認する。●古い機械(平成16年4月以前)にはデッドマンクラッチ機構が装備されていない機種もあります。



「除雪機をご使用の際は、各市町村で決められたルールに従って除雪作業を行ってください」